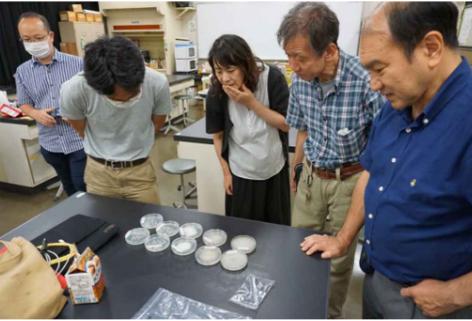


【放送大学千葉学習センター／インタビュー】

知的好奇心を刺激し、ワクワク充実した毎日を通せる放送大学



＜インタビューにご協力いただいた皆様＞放送大学 准教授／矢口 貴志氏・放送大学 教養学部人間と文化コース／林 智絵さん・放送大学 教養学部自然と環境コース／澤田 葵さん

今回はミニゼミ「生活環境中のカビ」を担当する千葉大学真菌医学研究センター准教授 矢口貴志氏と、同ゼミを受講している林智絵さん、澤田葵さんによる対談を行った。

澤田さんと林さんは意外な場所で知り合ったと聞きました

林：昨年の秋に東京理科大学の理窓会記念自然公園で開かれた日本菌学会関東支部の菌類観察会でした。

澤田：私も元々カビや菌類に興味があったのでその観察会に参加したら、きのこについてとても熱く語る女性がいて、それが林さんだったのです（笑）。

林：初対面でしたけど澤田さんも菌類に詳しくて、なんだか私と同じにおいがしたもので（笑）。

澤田：それで、お話しをするうちに林さんが「実は今、放送大学で菌類を学んでいるのです」と。大学院まで続けていた菌類研究を再開したいと考えていたので、放送大学ならその夢が叶うと思い入学を決意しました。

ミニゼミについて教えてください

矢口：本年度は10のミニゼミが実施されていて、私のゼミは「生活環境中のカビ」をテーマに月1回、3時間の講義を行います。放送大学の学生さんは学ぶことに積極的な方が多いですから、最初の30分でその日のテーマについて私がお話をして、そこから山のような質疑応答があって（笑）。その後は各々で観察したり意見交換したりと、かなり学生主体のゼミになっています。

澤田：私は中学生の頃から矢口先生をテレビで拝見していたので、ご本人から直接指導してもらえるなんてまたとない機会と思ってミニゼミに応募しました。

林：私の場合はこれまで鈴木先生、根田先生に師事してきのこを研究してきました。担子菌というきのこを作る菌類のことも学びました。きのこを研究しているとカビの世界はとても広く複雑で…。

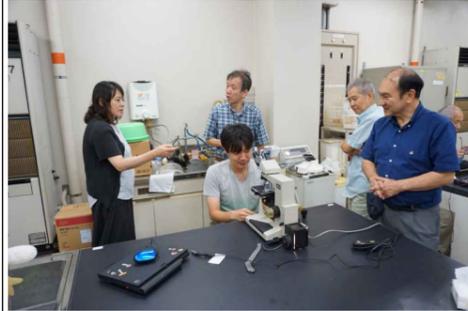


澤田：私が学んできたのは植物の病気を誘発する菌類やカビだったので、矢口先生が専門にされている医真菌のことはまったく触れてこなかったのです。

矢口：我々の世界では一般にカビ、酵母、きのこの3つを合わせて菌類や真菌と呼んでいます。なので、おふたりが学んでこられたカビやきのこは、私のやってきた医真菌、ヒトに病原性を示す真菌（カビ）の研究とは若干違う分野なのです。

林：きのこを培養しているとカビが発生するから、カビ自体は身近な存在でした。でも、私ひとりカビについて深く調べるのは大変なことで。真菌を長年研究されている矢口先生が4月にミニゼミを開講されると聞いて飛びつきました。

澤田：それ、すごく分かります！興味があるから知りたい、学びたいと思っても、自分で新しい分野を開拓していくってなかなか難しいですからね。



ミニゼミの魅力はどんなところでしょう？

林：一流の先生に最先端の学問を教えていただけるのはとても貴重な時間だと思います。

澤田：いつか会いたかった先生に学べるって、すごいことです。あと、一般的な大学の講義とは違ってここにはいろんなバックグラウンドをもった方が集まるので、いろんな物の見方、考え方に触れられるのも面白いです。

林：それは絶対ある！澤田さんが20代で私が50代でしょう。上には80代のゼミ生もいますからね。いろんな目線があるから、お話ししているだけで本当に面白いのよね！

澤田：好きなことに没頭している、夢中になって学んでいる人って「若い」なって思うことはありませんね。

矢口：それは教える立場の私も実感しています。10代、20代の大学生、研究生とは違った視点で物を見る方が多いと、いつも驚かされています。おふたりを始めとても熱量のある学生さんばかりなので、そういった積極的な研究姿勢というのは刺激になりますし、私も見習わなくてはと思っていますよ。

澤田：矢口先生はテレビにも出演されてきたので、一般的なカビの知識から踏み込んだ知識まで…聞いていてどんどん興味が湧いてくるお話がされるのです。時折出てくるユーモアがあるお話も含めて。ゼミのテーマですが、矢口先生がとても魅力的だと思っています。

矢口：そんなの初めて言われたなあ。（照笑）

林：学生も個性豊かで魅力的な方が多いけど、放送大学の先生も魅力的ですよ。（笑）ゼミに参加してまだ数カ月ですけど、カビの世界を知れば知るほどカビの面白さにハマっていますし、矢口先生に出会ったことで研究意欲が加速したといえますか、研究熱がより高まったと思います。

矢口：我々の研究は自然科学を相手にしていますから、学生さんは素直な目で自然を見る方が多いですね。ずっと研究畑を歩いてきた私だと余計なフィルターがいっぱいかかってしまいますので、学生さんと接していると初心を思い出させてもらうこともあります。

あなたにとって放送大学で学ぶとは？

林：論文を書くとか学位を取るのはもちろん大切なのですが、やっぱり学んでいる時のワクワクは他では味わえない喜びです。不思議だな、面白そうだなと思ったことを研究して、いつか大きな発見に繋がったらいいなと思っています。

澤田：放送大学と一緒に学んでいる皆さんは、いつでも好奇心がいっぱいで学ぶのが楽しそうだなって思います。4月から学生になってつくづく思いますが、学びたい欲って無限ですよ。分かっていることを知ることも大変なのに、分かっていることも無限に広がっているっていう感じで。放送大学は何かを知ろうと思うきっかけを与えてくれる場です。

皆さんの今後の目標を教えてください

林：来年、青森で開かれる日本菌学会で論文発表をしようと思っています。

澤田：あつ、林さん本気ですね。

林：今年の熊本学会の時にみんなで熊本城に誓ったのです。「来年の青森学会に行くぞ！」って。と言っても、いろんなデータを取りながら論文を書く前のプレ設計をやっている段階で。まだテーマも絞りきれないから、いくつか候補を挙げられたら矢口先生に相談しながら進めるつもりです。矢口先生、よろしくお願いします！

矢口：分かりました。林さんが本気ならいつでも（笑）。

澤田：私は放送大学で好きな菌類の勉強を長く続けられたらなと思っています。あといつかやりたいと思っていることなのですが、私はカビ図鑑でこの世界に興味を持ったので、今度は自分で発信していく側になりたいという夢があります。美しい菌類の写真を撮って発信していくとか、自分の学問を究めつつ、沢山のの人に菌類に興味を持ってもらえるような、「菌類が好き」って言ってくれる人が増えたらいいなと思っています。

矢口：年齢的にも研究生活の最終段階に差し掛かっていますので、自分の研究の原点に立ち返って土壌などからカビを分離してみようかと考えています。新たな発見に結びつかなくても「カビは多くの生態系に影響を及ぼす微生物である」と改めて実感できたらと。

林：あと、青森学会とは別で、図書館に所蔵されている古い本についてカビの研究もしています。実際に分離培養したら思っていた以上にいろんなカビや酵母菌が出てきて。この研究を進めたら、図書館資料のカビ対策にも何かの成果が出せるのではないかと。本に付いたカビって何を栄養素にしているのかも個人的に気になるので、しばらくは本のカビについて深めたいと思っています。

澤田：林さんって本当に好奇心旺盛ですよ。

林：放送大学にいると研究熱が下がらないのよ～。

一同：笑

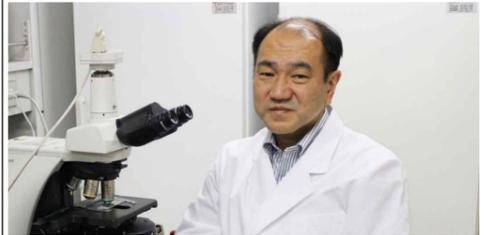
放送大学に興味を持っている読者へのメッセージ

矢口：放送大学は知的好奇心を刺激して、新しいことに挑戦する意欲や新しいアイデア、視点を得られる場所です。これはご自身の成長、発展に大いに繋がることでしょう。一度、放送大学の授業を受けてもらえば実感してもらえるはずです。

澤田：働きながら、主婦をしながら、あるいは最後に好きなことを存分に学べるのが放送大学です。ご自身のスタイルで学生生活を送ることができずし、入学したあともいろんな学問に出合えると思いますよ。

林：好きなスタイルで学問ができる。これに尽きますよね。放送大学のある人生って、本当に楽しいワクワクできるし、とっても充実していますよ！

＜プロフィール＞



矢口 貴志／やぐち・たかし

1961年、長野県出身。早稲田大学理工学部にて微生物の研究を始め、同大学院博士前期課程修了後は製薬会社にてカビの有用物質の研究に従事。2003年より千葉大学真菌研究センターで病原真菌の研究を続けている。



林 智絵／はやし・ちえ

1970年、千葉県出身。子育ての一助にと児童心理学を学ぶため、1993年に放送大学へ入学。ある年に受けた菌類の生体についての面接授業で菌類の面白さに魅了され、卒業と再入学を経て9年ほど菌類研究に没頭している。



澤田 葵／さわだ・あおい

1998年、福島県出身。高校生時代に手にしたカビ図鑑がきっかけとなりカビに興味を持つように。大学院まで菌類の研究を行ったのちに社会人となるが、2022年に開かれた日本菌学会で放送大学を知り、2023年に入学。

（文 吉岡啓雄）

心理学 Psychology

カウンセリング研究会

<大学公認団体>

内容：毎月の定例会ごと、単発のテーマを設定し学習。机上の学習だけでなく、演習を重視。また不定期で展覧会等の見学、座禅等の体験学習機会を設けている 活動日：毎月1回日曜日14:00~17:00 会員数：15名程度 会費：年会費無し 連絡先：福森 happyforest21c@gmail.com



心理臨床研修会

<大学公認団体>

内容：創作コラージュ療法を中心に毎月定例研修会を開催し心理学の学びを深める一方、卒業まで仲間と語らい楽しく学ぶ場を提供。ぜひ一度一緒に体験を！ 活動日：毎月第2日曜日及び第4土曜日に研修会 日曜日10:00~16:00 土曜日9:30~16:30 会員数：約50名 会費：研修会区分に応じた額 連絡先：岡村 090-3475-7241 FAX 050-3586-8773 t-okamura@dream.jp



音楽 Music



サークル紹介

アンサンブル倶楽部

内容：千葉学習センターラウンジにて年数回ランチコンサート。使用楽器リコーダー(ソプラノ、アルト、テナー)フルート、ピアノ、バイオリン等 活動日：月2回(平日又は週末) 会員数：10名 会費：なし 連絡先 高橋:080-5009-2400

千葉合唱サークル(混声合唱)

<大学公認団体> 内容：“響きとハーモニー”、みんなが楽しく、そしてお聴きいただく方々とも感動を共有できる合唱を目指しています。一緒に歌ってみませんか。活動日：毎月第1、3日曜日 13:00~15:30 会費：2500円/月 連絡先：sakuma1146@nifty.com HP: 放送大学千葉合唱サークルで検索。

放送大学軽音楽

<大学公認団体> 内容：毎月2日間セミナーハウス研修室、千葉学習センター講義室、千葉市コミュニティセンター等で練習をして、千葉学習センター秋祭り等で発表をしている 活動日：毎月第1日曜日と適宜土曜日、日曜日、祝日の内の1日 12:00~18:00頃 会員数：12名 会費：半年2,000円 連絡先：岡 oksunpiano@yahoo.co.jp 090-9366-7834



スペイン語友の会 外国文化 Foreign Culture

<大学公認団体>

内容：毎月の例会では、スペイン語圏の歴史・文化をもっと知るため、柳沼先生(神田外大・元副学長)による語学専攻学生用テキストを用いた特別講義を行っています。活動日：毎月第2火曜日13:00~16:00 会員数：15名程度 会費：入会金：2,000円、参加費：1回1500円 連絡先：末富 080-4095-5735 qui.suetomi@gmail.com



石ひろいの会 科学 Science

<大学公認団体>

内容：岩石学を中心に地学の学習。顧問の廣井美邦先生のご指導のもと、偏光顕微鏡により鉱物薄片観察や野外巡検での岩石採集などを行います。見学大歓迎！ 活動日：月1回程度、実験室での偏光顕微鏡観察・発表・学習会。年1、2回程度の野外巡検そのつど、皆で日程を合わせます。 会員数：12名 会費：なし 連絡先：太田 machiko-glass@outlook.jp ※長瀬巡検時の写真



千葉学サイエンスカフェ

内容：がん・糖尿病などの健康・病気、地球温暖化、インターネット、人類の起源、コロナ、地政学、デザインなど、サイエンス全般なんでもOK、逸脱もOK。参加者が自分のテーマを話してわいわい議論して交流するサークル。最近Webサークルを実施中。 活動日：毎月第3水曜日13:30~16:30、現在はSkypeによるWebサークルを実施中 会員数:14名 年会費:1,000円 連絡先：伊草 igs.ooowada1121@ae.auone-net.jp



美術 Art

書道クラブ 翠乃会

内容：小田原翠浦先生にご指導頂き書を通じて会員間の交流を図っています。楷書、行書、草書、臨書や条幅等の稽古。初心者の方も大歓迎。一緒に墨の香りの中、筆を持ちませんか。 活動日：第1火曜日10:00~13:00 会員数：8名 会費：5,500円(3か月分、教材費込み) 連絡先：大川内 nana10o3po@yahoo.co.jp



若葉スケッチ会

<大学公認団体> 内容：野外に出掛けて、水彩画のスケッチを楽しみ、作品は、千葉学習センターに展示しています。年1回合宿旅行(2泊3日)でパワーアップ 活動日：毎月第1金曜日10:00~16:00頃 会員数：20名(うち女性11名) 会費：年会費1,000円 連絡先：石田 047-454-7304 yuchy_ishida@yahoo.co.jp

木彫会

内容：木彫による仏像づくりをしています。日々のうつろいの中である日ふつと仏像を作りたいと思ったことはありませんか？ある女性の活動歴は4年目です 会員数：7名 会費：なし 連絡先：田中 090-8841-5700 ohta2@jcom.zaq.ne.jp



古典 Classic



海洋クラブ

内容：海の楽しさを紹介します。クルージング、SUP、海釣り、料理教室、南房総マリーナ宿泊、勉強会等 活動日はそのつどLINEに掲載してお知らせいたします。 会員数：10名(内女性2名) 会費：1,000円/年 活動によって別費用あり 連絡先：木下 tesshu73@gmail.com



シニアライフ研究会

<大学公認団体> 内容：毎回担当会員が1時間前後のプレゼン、その後白熱の討論(古今東西、森羅万象を議論する楽しく愉快で有益な会)他に経済研究会など分科会開催 活動日：毎月第1金曜日10:00~16:00 会員数：11名 会費：3,000円/年 連絡先：野上 hnogami@cure.ocn.ne.jp



古文書を読む会

<大学公認団体> 内容：近世の武士日記を題材に古文書講読を行います。文章内容が率直で面白く挿絵も楽しめ又歴史資料としても貴重なものです。他に「江戸歩き」日記の現場検証や日記を書いた武士の地元調査などを行います。写真は神楽坂から四谷見付までを探訪した際のものです 活動日：毎月2回(第一・第三火曜日)に講読会 月1回(適時)に「初心者会」など 会員数：約20名 会費：入会金1,000円 会費4,000円/年 連絡先：野口 090-1464-4501 akira.noguti@honey.ocn.ne.jp

コミュニティ Community

放送大学千葉同窓会

<大学公認団体>

内容：①通常総会 ②研修・親睦小旅行 ③卒業研究・修士論文発表会 ④語ろう会 ⑤会報発行 ⑥放送大学叢書販売・バッジ販売 ⑦同窓会連合会事業へ年間通じて参加・協力 活動日：第2火曜日(変更もあり) 10:00~12:00 会員数：1,049名 会費：①卒業生会員(終会費12,000円) ②特別会員(センター職員、職員OB 終会費12,000円) ③在学生会員(初年度2,000円入金→終会費12,000円まで次年度から1,000円×10回払) 連絡先：小滝 047-339-9325



囲碁クラブ

<大学公認団体> 内容：対局を主体とし初心者には個別に指導 活動日：毎週木曜日 会員数：21名 会費：年会費1,000円入会金1,000円 連絡先：桑原 masatkuw@mtj.biglobe.ne.jp

千葉コンピュータユーザーズ

<大学公認団体> 内容：パソコンの知識と操作技術の向上を目指し、日々努力と研鑽を積んでおり、パソコンを通じ充実した時間を楽しみと共に会員相互の親睦をはかること 活動日：月2~3回(13:30~15:30) 会員数：12名 会費：年間6,000円(6ヶ月3,000円) 連絡先：中込 043-278-5126 y-nakagome@rose.plala.or.jp